

E N E O S 海外渡航支援事業報告書（学会渡航）

2025 年 12 月 22 日

工学部長・工学研究科長 殿

工学部・工学研究科修士課程（どちらか〇で囲む）

所属学科・専攻・回生 化学工学 学科・専攻 2 回生

学生番号 1030-36-8338

氏 名 山本 駿介

1. 参加期間 2025 年 12 月 15 日 から 2025 年 12 月 20 日

2. 会場（開催国・場所・機関等）

開催国：アメリカ合衆国 場所：ハワイ州ホノルル市

主催期間：The International Chemical Congress of Pacific Basin Societies 2025

3. 発表成果（概要）

『Extraction of simulated radioactive metals by supported liquid membrane

extraction and continuous slug flow』という題目で、放射性廃液の減容化を目的とし

た放射性核種の選択的分離技術についてポスター発表を行った。本研究では、廃液の減

容化に繋がる手法として液液抽出法に着目し、液膜抽出法とスラグ流抽出法における選

択的な濃縮率と回収率の比較検討結果について報告した。本学会では幅広い領域のセッ

ションが展開されており、自身の専門外の知見に触れることで大きな刺激を受けた。一

方で、議論の場では日常会話レベルよりも一段高度な、論理的かつ専門的な英語力が求

められることを痛感し、自身の考えを正確に伝える難しさを感じた。国際的な舞台で対

等に議論するには、さらなる語学力の向上が不可欠であると強く認識した。

4. 奨学金の使途予定（概算）

本奨学金は、渡航費の一部に充当。